

複合経営等漁家経営改善支援事業

河口 真弓

複合経営等漁家経営改善支援事業は、意欲ある漁業者または漁業者グループを対象に、漁家経営改善に向けた新たな取組等を支援することにより、漁家経営の安定・玄海地区水産業の活性化につなげることを目的としている。具体的には、漁家経営の改善に関する養殖・加工技術や販売等について指導を行うとともに、漁業者・漁業者グループ等が漁家経営の改善に取り組むにあたり必要な初期投資や商品化に係る経費に対する補助を実施している。

1. 補助事業実施状況

令和5年度の補助事業実施状況を表1に示す。令和5年度は6課題が採択された。当センターでは、各課題の実施にあたり、適宜指導を行った。

表1 令和5年度補助事業実施状況

タイプ※	取組課題名	構成員の 主な漁業 種類	構成員数 (人)
チャレンジ	養殖業（アカウニ）の導入による漁家経営の多角化	海士、定置網	8
	養殖業（アカウニ、アワビおよびコンブ）の導入による漁家経営の多角化	海士、釣り	11
	ムラサキウニ低評価品の加工販売による魚価向上	海士、カキ養殖	1
地域の中核	該当なし		
スマート 漁業推進	スマート機器（潮流計）の導入による操業の効率化及び玄海地区漁業のスマート化の推進	ごち網、カキ養殖	1
	スマート機器（潮流計）の導入による操業の効率化及び玄海地区漁業のスマート化の推進	いか釣り及び釣り（一本釣り）	1
	スマート機器（サーチライトソナー）の導入による操業の効率化及び玄海地区漁業のスマート化の推進	いか釣り及び釣り（一本釣り、曳縄）	1

※補助事業のタイプ

チャレンジタイプ：個人又はグループが取り組む、複合経営の着業や漁獲物の魚価向上、低コスト化等の漁家経営改善のための新たな取組

地域の中核タイプ：グループが取り組む、チャレンジタイプ等の取組のさらなるステップアップを目指した取組等、地域への波及効果が期待される取組

スマート漁業推進タイプ：個人又はグループが取り組む ICT 等の先端技術を用いた機械等の導入による生産性向上や資源評価の高度化のための取組